

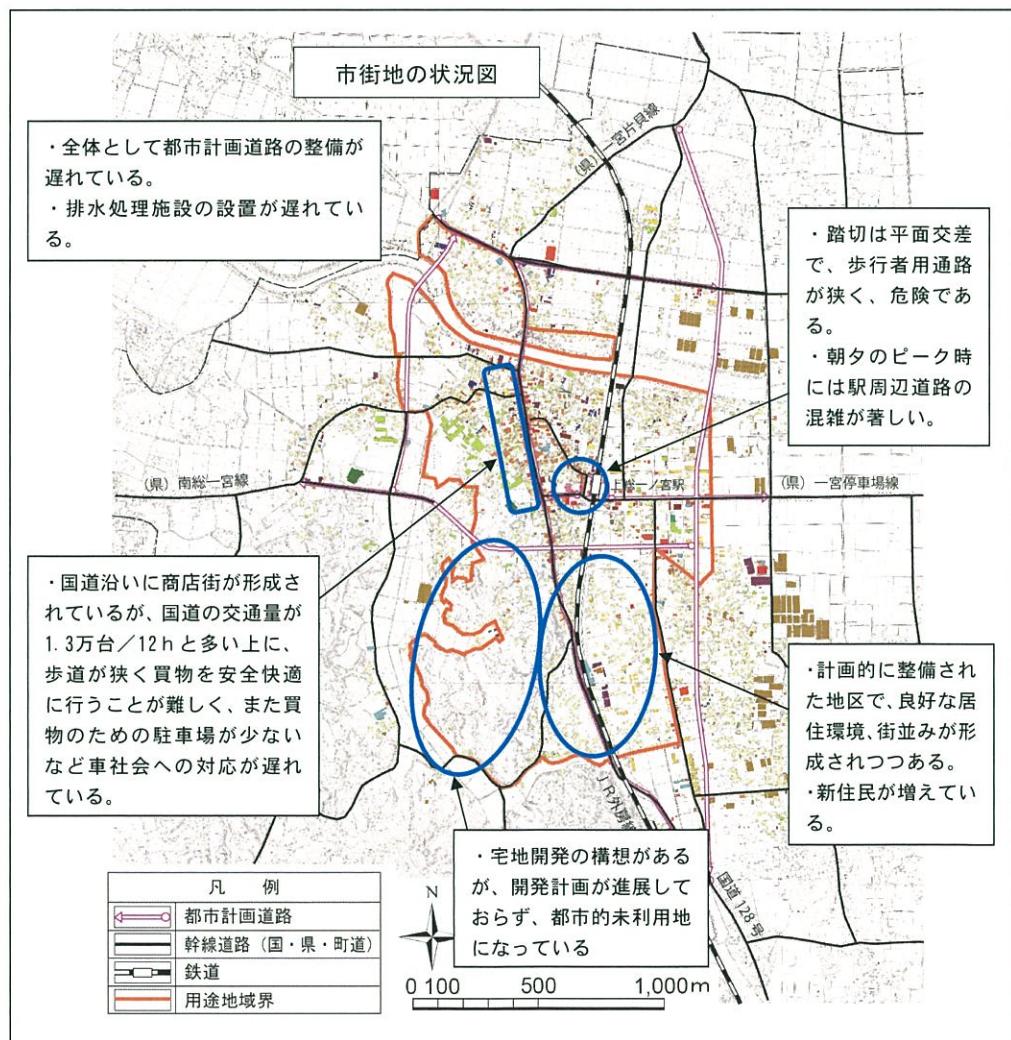
9. 市街地の状況

市街地は、用途地域に指定された区域を中心として形成されています。

既存の商業地は、図に見るように国道128号沿道からJR上総一ノ宮駅西口にかけての区域に形成されていますが、国道128号は、交通量が約1万3千台／12hと多い上に歩道が狭く、安全快適に買い物ができる環境になく、また駐車場も少ないなど車社会への対応の面で遅れおり、活性化が課題となっています。

国道128号（都市計画道路3・5・7 国道128号線）をはじめとして、都市計画道路の整備が遅れおり、自動車交通の処理機能が弱いことと併せて歩道整備の遅れに伴い安全性確保の上で問題と考えられます。

また、排水処理施設として、都市下水路と農業排水処理施設がありますが、浄化槽の設置が遅れています。



10. 財政の状況

本町の歳出の推移をみると、歳出総額は平成15年度まで概ね38～39億円で推移していましたが、平成16年度に大きく増加した後平成19年度の33億6千万円まで減少しました。その後再び増加傾向に転じ平成22年度に44億9千万円となっています。

歳出総額のうち、普通建設事業費は、年によってばらつきがみられるものの、社会保障費等の扶助費は、一貫して増加傾向がみられ、歳出総額に占める割合も年々高まっており、平成22年度には11.0%を占めるまでになっています。

町の財政力を示す財政力指数と経常収支比率について県平均と比較すると、平成22年度で県平均が各々0.735、87.8に対し、本町は0.531、85.5となっており、厳しい財政状況がうかがえます。



(資料：各年市町村財政の状況（千葉県総務部市町村課）)

(※) 扶助費：生活保護や高齢者福祉・児童福祉等の社会保障に要する経費

普通建設事業費：道路、学校及び公園等の公共施設の建設や用地取得等の投資的経費

（公共事業費）

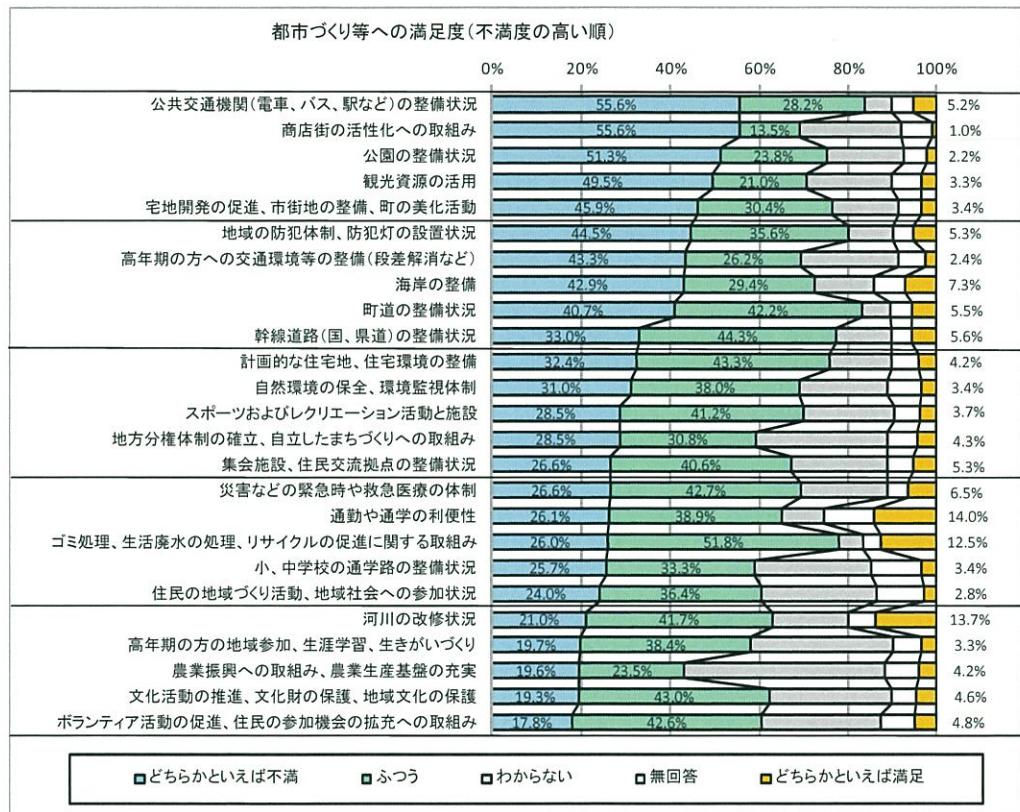
財政力指数：財政の強弱を示すための指標で高いほど財政力が強い

経常収支比率：財政の弾力性（ゆとり）を示すための指標で低いほど財政にゆとりがある

11. 都市づくり等に関する町民意向

(都市づくり等についての満足度)

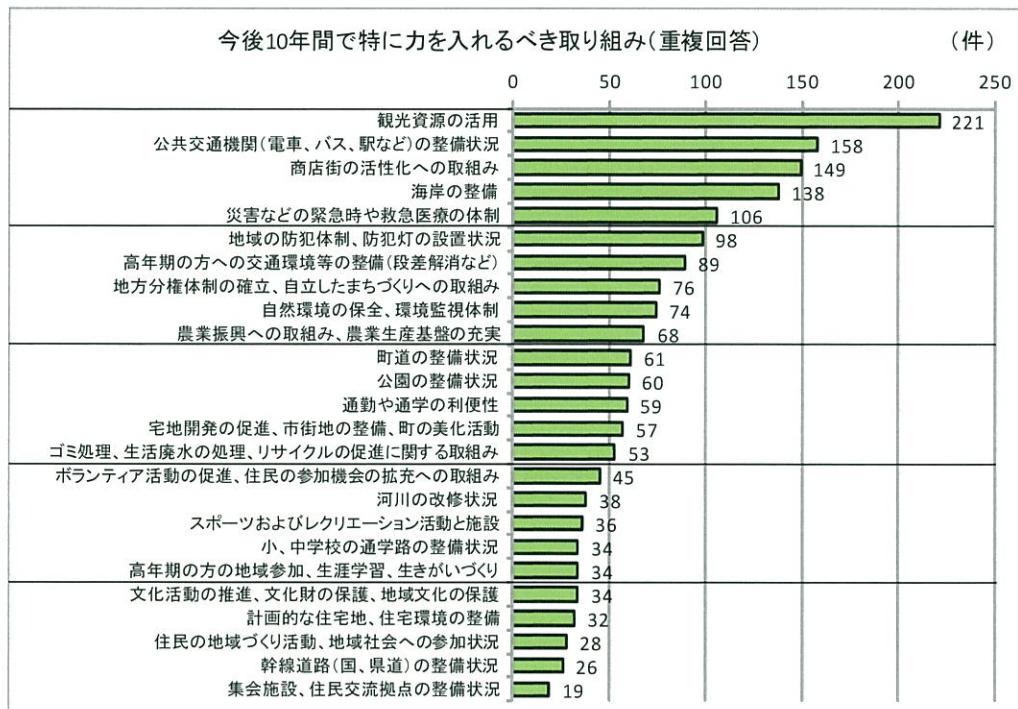
都市づくり等の項目に対する満足度について、総合計画策定時における町民アンケート調査（平成21年度調査）によってみると、不満度（「どちらかといえば不満」の比率）の特に高い項目として、「公共交通機関の整備状況」と「商店街の活性化への取り組み」が共に55.6%と最も高く、次いで、「公園の整備状況」の51.3%、「観光資源の活用」の49.5%、「宅地開発の促進、市街地の整備、町の美化活動」の45.9%と続いています。



(資料：総合計画策定時の町民アンケート調査結果)

(都市づくり等についての優先度)

都市づくり等の項目に対する優先度の高い施策（今後10年間で特に力を入れるべき取り組み）としては、「観光資源の活用」が221件と最も多く、次いで「公共交通機関の整備状況」が158件、「商店街の活性化への取り組み」149件と、特に不満度の高い項目が優先度の高い施策として挙げられています。その他では、不満度が比較的高かった「公園の整備状況」と「宅地開発の促進、市街地の整備、町の美化活動」については、優先性は比較的低くなっています。



(資料：総合計画策定時の町民アンケート調査結果)

